

一般質問事項一覧

12月3日(月)

質問者	質問方式	質問概要
藤堂(誠和会・公明党)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年度の予算編成の基本姿勢について聞きたい。 ○ 県で初の女性市長としての目玉政策は何か聞きたい。 <p>2 教育長の教育姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育長の教育姿勢を聞きたい。 ○ 市の特色ある教育とは何か聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
兼井(天空おおの)	一問一答方式	<p>1 大野市総合計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第六次総合計画とSDGsを、どのような手法で市民と一緒に考えるのか聞きたい。 <p>2 文化会館の整備に係る基本計画の策定状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係諸室やホール座席数の現状程度への見直しを進めるとのことだが、子ども議会などでも提案があった「天候に左右されず親子で遊び集える場所」としての機能は検討しているのか聞きたい。 <p>3 「稼ぐ力」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重点道の駅「(仮称)結の故郷」の維持管理経費として、人件費や光熱水費などで年間約1億9,000万円、営業時間内訪問台数は約750台、平均乗車人数を3人とし年間予想来場者数は約80万人、道の駅での客単価は620円を見込み、本道の駅での売り上げは5億円以上を目標、道の駅から市内への回遊を加味し、その利用者全体での年間の予想売上高は約7億円、雇用者数は約80人の雇用に変更はないのか聞きたい。 ○ 市内回遊に対するソフト面の取り組み状況について聞きたい。 ○ バリアフリーへの取り組み状況について聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
<p>廣田（清風会）</p>	<p>一問一答方式</p>	<p>1 越前おおのまるごと道の駅ビジョンについて</p> <p>越前おおのまるごと道の駅ビジョンについて聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長が考える越前おおのまるごと道の駅ビジョンとはどのようなものか。また大野版DMOやSDGsとの関連性を聞きたい。 ○ 越前おおのまるごと道の駅ビジョンの担当部署と、これまでの取り組みについて聞きたい。
		<p>2 小中学校の再編計画見直しについて</p> <p>小中学校の再編計画見直しについて聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 阪谷地区、乾側地区、富田地区の陳情や要望に対する取り組み状況について聞きたい。 ○ 近々の課題であるスポーツ、文化活動の維持や複式学級の増加などの対策について聞きたい。 ○ 幼児教育を含め子どもたちの教育環境の現状と、今後の推察について聞きたい。
		<p>3 消防団の現状や報酬について</p> <p>第67回福井県消防操法大会にて、ポンプ車操法の部、1位2分団、小型ポンプ操法の部、3位8分団。第26回全国消防操法大会では、ポンプ車操法の部、2分団が県内では初めて入賞し、優良賞を獲得し活躍された消防団について聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 報酬及び出場手当の支給状況について聞きたい。 ○ 操法大会出場に係る選手や団員、消防職員の出場状況や分団に係る経費について聞きたい。 ○ 少子化・人口減少時代における消防団の課題について聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
<p>榮 (日本共産党大野市議団)</p>	<p>一問一答方式</p>	<p>1 学校教育審議会議事録公開訴訟をめぐって</p> <p>○ 判決から何を教訓として引き出したか。</p> <p>○ 今後の課題は、その認識について。</p> <p>○ 情報公開制度に対する隠蔽(いんぺい)体質については。</p> <p>2 社会保障制度としての国保について</p> <p>国民皆保険は、全ての人々が健康保険や国民健康保険に加入し、病気やけがをしたら保険証さえあれば、必要な医療が受けられる仕組みである。1961年、国民健康保険法が改正されて「国民皆保険」が確立された。その視点から、大野市国民健康保険事業運営方針について質問をしたい。</p> <p>○ 住民の生活実態から運営方針ができてきているのかどうか。</p> <p>○ 高すぎる国民健康保険税を、1世帯1万円引き下げるのにどうすればよいか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
<p>梅林 (天空おおの)</p>	<p>一括質問・答弁方式</p>	<p>1 自然と人々がともにずっと生きていく、持続可能な地域づくり</p> <p>○ 市のブランドである「水」(地下水)を象徴する名水百選「御清水」周辺の汚水処理と環境保全についての市長の見解を尋ねる。</p> <p>○ 「大野市地域公共交通網形成計画」今回の見直しで、市民生活がどのように良くなるのかを尋ねる。</p>

一般質問事項一覧

12月4日（火）

質問者	質問方式	質問概要
野村（日本共産党大野市議団）	一問一答方式	<p>1 消費税について</p> <p>○ 政府は、来年10月に消費税を10%に引き上げると言っている。市民に大きな影響を及ぼすと考えられるが、消費税増税による市民の暮らしをどのように認識しているのか。</p> <p>2 文化会館・道の駅・工業団地について</p> <p>○ 文化会館建て替え、道の駅建設、産業団地造成が進められているが、今、市民生活が苦しいとき大型公共事業を見直すべきではないか。</p> <p>3 人口減少対策には暮らし福祉支援の市政を</p> <p>○ 大型公共事業を見直して、国民健康保険税1世帯1万円の引き下げ、子どもの医療費窓口完全無料化、高校生まで医療費無料化、学校給食費無料化、学校徴収金無料化。今、市民が求めているのは、このような施策ではないか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
島口（新生おのおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 平成31年度当初予算編成について</p>
		<p>○ 市長として初めてとなる当初予算の編成に当たり、市長選で訴えてこられた「みんなが大野を好きになる未来へつなぐまちづくり」を進めるに当たり、どのような事業に特に重点を置いて臨まれる考えか。</p>
		<p>2 重点道の駅について</p>
		<p>○ 本重点道の駅の運営に当たり、地元JAテラル越前との連携についてどのように考えているのか。</p>
		<p>3 本市の上水道・簡易水道について</p>
<p>○ 本市の上水道、簡易水道施設の老朽化対策と耐震化の現状はいかがか。</p> <p>○ 法律改正が行われた場合、大野市として何かしらの対応が必要になるのかどうか。</p>		
<p>4 行財政改革について</p>		
<p>○ 行政改革を推進し、財政の健全性を維持することは大変重要であるが、一方で交流人口の拡大を図るなど重点的に取り組むべき事業については思い切った予算付けも必要と考えるが、いかがか。</p> <p>○ 公共施設の再編の進捗（しんちょく）状況と今後の進め方について尋ねる。</p>		

質問者	質問方式	質問概要
永田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>1 ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンについて</p> <p>全国で54都市が中核市に指定されており、新たに福井市が指定され、平成31年4月に58市となる。このことに併せて、ふくい嶺北連携中枢都市圏を形成するとのことである。その目的は、人口減少・少子高齢化社会にあって地域経済を持続可能なものにする。近隣の市町と連携して、一定の人口を有し活力ある社会経済を形成するとある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 連携中枢都市圏の構成市町は、面積は県の約74％、人口は約64万6,000人余りで82％占めており、広大であるが、このことによって構成市町の人口流出、圏域からの「人口のダム」となり得るのか、所見を伺いたい。 ○ 圏域が、連携中枢都市へのひと、もの、しごとの集積が促進されるに伴い、地域間格差の拡大や空洞化が進行し、自治体の再編へ移行することが懸念されるが、伺いたい。 ○ 圏域全体の経済成長の牽引、高次都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上など具体的取り組みに関しての本市の考えについて伺いたい。
		<p>2 大野市地域公共交通網形成計画について</p> <p>大野市地域公共交通網形成計画については、平成21年にコミュニティーバスが運行されて以来、公共交通機関として進展してきた。福井県は1世帯当たりの自家用乗用車の保有率1.766と全国1位となっており、自動車に依存する「自動車大国ふくい」といわれている中、公共交通機関の役割を果たすため努力をされてきたが、利用者が減少するなどさまざまな課題を持っている。しかし、いったん開始した運行は、利用者がある限り廃止できない状況にあることがうかがえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート結果から、外出頻度と移動手段で見られるように82％が自分で運転する車となっており、また利用状況では、実に70％が利用したことがないとのことから、自家用車に依存していることが明らかである。その対策を講ずるべきと考えるが、いかがか伺いたい。 ○ 現状を踏まえた課題として、国の補助額の減少や運賃収入の低迷を掲げているが、何よりも利用率を上げることだと考えるが、その方策として市民一人一人に対する意識付けがあると思われるが、伺いたい。 ○ AIやGPSを使った自動運転の導入や係る研究施設の誘致など、これからさまざまな取り組みも考えられるが、伺いたい。

質問者	質問方式	質問概要
松田（無党派）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市地域公共交通網形成計画素案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共交通の運行経費とその収支率（運賃収入/運行経費）が平成29年度には6割台に悪化し、年間6,000万円の経費でも利用者が極端に少なくなっている状況をどのように評価しているか。 ○ 高齢者のニーズと公共交通の利用状況の分析から見えてくる今後の課題について、どのように反映させていくのか。（都市的地域とそれ以外地域） ○ 移動手段をSDGsの観点（持続可能な社会の開発を実現するために）で考えると、今後どのような移動形態になっていくのか。また地域で支え合う交通網形成にチャレンジすることは考えられないか。
		<p>2 第五次大野市総合計画後期基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市長は、総合計画に掲げた構想の実現のための柱と、公約に掲げた「みんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり五つの方法」との整合性について、相違ないと確認したと述べているが、現計画の残された約2年間に、特に留意すべきことや付け加えることはなかったのか聞きたい。
		<p>3 小中学校の学校再編の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育審議会の議事録（復命書）を開示せよとの判決に対して、控訴しないとの判断を示したが、これに対する市長と教育長の見解を求める。 ○ 来年1月から各地区に出向いて再編についての意見を聴くことになっているが、聴く相手は誰なのか。新聞では区長会やPTAと話し合いを持つと報道されているが、どのように進めていくのか。 ○ ESDと地域の関係について、基本的にどのような考えか。（持続可能な開発を実現するために発想し行動できる人材を育成する教育について）
		<p>4 大野市立地適正化計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ I・Uターンして新築、中古住宅購入し改築する場合、また3世代同居の住宅が新築、改築する場合に、用途地域と非用途地域、概して「街と農村部」で補助金の金額に100万円と50万円など、2倍の差を設けているのはなぜか。 また、そのことがこれからの大野市のSDGsとの関連としてどのように考えるか。

質問者	質問方式	質問概要
高岡 (天空おおの)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二元代表制について、どのような認識をもっておられるのか尋ねる。 ○ 情報公開について、どのような認識をもっておられるのか尋ねる。